

DRUG

INFORMATION



2015 No. 33

平成27年9月4日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について1

(平成27年9月3日 薬事委員会結果報告)

- ①院内新規試用医薬品
- ②院内追加採用医薬品
- ③院内採用中止医薬品
- ④院内採用変更医薬品
- ⑤販売中止医薬品
- ⑥院外採用中止医薬品
- ⑦同一成分で複数銘柄が採用されている院外採用中止医薬品

2. 新規採用医薬品情報4

- 【院内新規試用医薬品】
- 【院内採用追加医薬品】
- 【院内採用変更医薬品】

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp

①院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ツムラ治打撲一方エキス顆粒(配合剤)	漢方製剤
ブイフェンドドライシロップ 2800mg(ポリコナゾール)	真菌症治療剤
ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%バッグ(オキシグルタチオン)	眼灌流・洗浄液
ベリプラスト P コンビセット組織接着用 1mL(配合剤)	生物学的組織接着剤
ベリプラスト P コンビセット組織接着用 3mL(配合剤)	生物学的組織接着剤
インスリングラルギン BS 注ミリオペン「リリー」(インスリングラルギン)	持効型インスリン製剤
ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL(ガドブトロール)	MRI 造影剤
ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 7.5mL(ガドブトロール)	MRI 造影剤
ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 10mL(ガドブトロール)	MRI 造影剤
サイラムザ点滴静注液 100mg(ラムシルマブ)	抗悪性腫瘍剤
サイラムザ点滴静注液 500mg(ラムシルマブ)	抗悪性腫瘍剤
ジーラスタ皮下注 3.6mg(ペグフィルグラスチム)	持続型 G-CSF 製剤
マグネスコープ静注 38%シリンジ 15mL(ガドテル酸メグルミン)	MRI 造影剤

⇒ 平成 27 年 9 月 15 日より処方開始の予定です。

②院内追加採用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
イオプロミド 370 注シリンジ 80mL「FRI」(イオプロミド)	X 線造影剤
イオプロミド 370 注シリンジ 100mL「FRI」(イオプロミド)	X 線造影剤

⇒ 平成 27 年 9 月 15 日より処方開始の予定です。

③院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
エストラサイトカプセル 156.7mg(エストラムスチンリン酸エステルナトリウム水和物)	前立腺癌治療剤
エンテノロン-R 散(耐性乳酸菌)	整腸剤
ポンタールシロップ 3.25%(メフェナム酸)	非ステロイド系抗炎症剤
ソフラチュール貼付剤 30cm(フラジオマイシン硫酸塩)	化膿性皮膚疾患治療剤
ボルヒール組織接着剤 1mL(配合剤)	生物学的組織接着剤
オムニスキャン静注 32%シリンジ 15mL(アドジアミド水和物)	MRI 造影剤
フェノバル注射液 100mg(フェノバルビタール)	抗てんかん剤
プロジフ静注液 100mg(ホスフルコナゾール)	真菌症治療剤
プロスコープ 300 注シリンジ 100mL(イオプロミド)	X 線造影剤
マグネビスト静注シリンジ 10mL(ガドペンテト酸メグルミン)	MRI 造影剤
マグネビスト静注シリンジ 15mL(ガドペンテト酸メグルミン)	MRI 造影剤
マグネビスト静注シリンジ 20mL(ガドペンテト酸メグルミン)	MRI 造影剤
ランタス注シロスター300 単位(インスリングルラギン)	持効型インスリン製剤

⇒ 院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

④院内採用変更医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	薬品分類
エボザックカプセル 30mg ⇒ サリグレンカプセル 30mg	口腔乾燥症状改善薬

⇒ 旧製剤の在庫がなくなり次第、変更とします。

⑤販売中止医薬品

旧医薬品名 ⇒ 新医薬品名	(外):院外専用医薬品	薬品分類
ラクツロース末・P(ラクツロース) ^(外)		経口用二糖類製剤
リドーラ錠 3mg(オーラノフィン) ^(外)		抗リウマチ剤
アイビナール点眼液 0.01%(イブジラスト) ^(外)		抗アレルギー剤

⇒ 院外調剤薬局の在庫状況を判断した上で中止とします。

⑥院外採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
グルコバイ錠 50mg(アカルボース)	食後過血糖改善剤
バラシクロビル粒状錠 500mg「モチダ」(バラシクロビル塩酸塩)	抗ウイルス剤
ペンタジン錠 25mg(ペンタゾシン塩酸塩)	非麻薬性鎮痛剤
ソフラチュール貼付剤 30cm(フラジオマイシン硫酸塩)	化膿性皮膚疾患治療剤
ノボラピッド注ペンフィル(インスリンアスパルト)	超速効型インスリンアナログ製剤
ヒューマリン R 注 100 単位/mL(インスリンヒト)	速効型インスリン製剤
ヒューマリン N 注カート(インスリンヒト)	中間型インスリン製剤
ヒューマリン 3/7 注カート(インスリンヒト)	混合型インスリン製剤

⇒ 院外調剤薬局の在庫状況を判断した上で中止とします。

⑦同一成分で複数銘柄が採用されている院外採用中止医薬品

中止医薬品名(成分名)	切替薬品	薬品分類
エボザックカプセル 30mg(セビメリン塩酸塩水和物)	⇒ サリグレンカプセル 30mg	口腔乾燥改善剤
エンテロノン-R 散(耐性乳酸菌)	} ⇒ ビオスリー配合散	整腸剤
ビオフェルミン R 散(耐性乳酸菌)		
クラリス錠 200mg(クラリスロマイシン)	⇒ クラリシッド錠 200mg	マクロライド系抗生物質製剤
メトレート錠 2mg(メトトレキサート)	⇒ リウマトレックスカプセル 2mg	抗リウマチ剤
イドメシンコーワクリーム 1% 35g(インドメタシン)	⇒ インデバンクリーム 1% 25g	非ステロイド系消炎鎮痛剤

⇒ 同一成分で複数銘柄が採用されている院外処方医薬品の見直しが行われ、過去1年間の使用実績を考慮して中止することとなりました。院外調剤薬局の在庫状況を判断した上でオーダ中止とします。

【院内新規試用医薬品】

▶ツムラ治打撲一方エキス顆粒

(配合剤) 2.5g/包

〔ツムラ〕

7.5g 中：	
ケイヒ	3g
センキュウ	3g
センコツ	3g
カンゾウ	3g
ダイオウ	1g
チョウジ	1g
ボクソク	3g

〔薬価〕8.8 円/g

〔貯法〕遮光

【効】打撲による腫れ及び痛み

【用】(内) 1 日 7.5g を 2～3 回に分割し、食前又は食間に投与する。

(ポリコナゾール)

▶ブイフェンドドライシロップ 2800mg ㊟

Vfend 2800mg/瓶(溶解後 70mL/瓶)

〔ファイザー〕

〔薬価〕1,328.3 円/mL

〔貯法〕2～8℃

【効】侵襲性アスペルギルス症、肺アスペルギローマ、慢性壊死性肺アスペルギルス症、カンジダ血症、食道カンジダ症、カンジダ腹膜炎、気管支・肺カンジダ症、クリプトコックス髄膜炎、肺クリプトコックス症、フサリウム症、スケドスポリウム症

【用】(内) 〔成人(40kg 以上)〕初日は 1 回 300mg を 1 日 2 回、2 日目以降は 1 回 150mg 又は 1 回 200mg を 1 日 2 回食間に投与する。症状に応じて又は効果不十分の場合には増量できるが、初日投与量の上限は 1 回 400mg 1 日 2 回、2 日目以降投与量の上限は 1 回 300mg 1 日 2 回までとする。〔成人(40kg 未満)〕初日は 1 回 150mg を 1 日 2 回、2 日目以降は 1 回 100mg を 1 日 2 回食間に投与する。症状に応じて又は効果不十分の場合には 2 日目以降の投与量を 1 回 150mg 1 日 2 回まで増量できる。〔小児(2 歳以上 12 歳未満及び 12 歳以上で 50kg 未満)〕ポリコナゾール注射剤による治療を行った後、1 回 9mg/kg を 1 日 2 回食間に投与する。効果不十分の場合には 1mg/kg ずつ増量し、忍容性が不十分の場合には

1mg/kg ずつ減量する(最大投与量として 350mg を用いた場合は 50mg ずつ減量する)。1 回 350mg 1 日 2 回を上限とする。〔小児(12 歳以上で 50kg 以上)〕ポリコナゾール注射剤による治療を行った後、1 回 200mg を 1 日 2 回食間に投与する。効果不十分の場合には 1 回 300mg 1 日 2 回まで増量できる。

(オキシグルタチオン)

▶ビーエスエスプラス 500 眼灌流液 0.0184%

BSS Plus 500mL/本 〔日本アルコン〕

〔薬価〕4,049.6 円/本

〔貯法〕希釈後 6 時間以内に使用

【効】眼科手術(白内障、硝子体、緑内障)時の眼灌流及び洗浄

【用】(外) 用時、オキシグルタチオン溶液を希釈液で希釈し、眼科手術時に眼内及び眼外の灌流及び洗浄を目的とし、白内障手術：60～240mL、硝子体手術：90～400mL、緑内障手術：30～260mL を目安として使用する。

▶ベリプラス P コンビセット組織接着用 1mL ㊟

Beriplast P (配合剤) 1mL/セット

〔CSL ベーリング〕

1mL 中：	
人フィブリノゲン	80mg
人血液凝固第 XⅢ 因子	60 倍
アプロチニン液	1,000KIE
トロンビン	300 単位
塩化カルシウム	5.88mg

〔薬価〕14,089.2 円/組

▶ベリプラス P コンビセット組織接着用 3mL ㊟

Beriplast P (配合剤) 3mL/セット

〔薬価〕39,690 円/組

〔貯法〕10℃以下、禁凍結

【効】組織の接着・閉鎖(ただし、縫合あるいは接合した組織から血液、体液又は体内ガスの漏出をきたし、他に適切な処置法のない場合に限る)

【用】(外) フィブリノゲン末をアプロチニン液全量で溶解し、A 液とする。トロンビン末をアプロチニン液量と同量の塩化カルシウム液で溶解し、B 液とする。接着・閉鎖部位に A 液、B 液を重層又は混合して適用する。10cm² あたり A 液 B 液各々 1mL を適用する。

(インスリングラルギン(遺伝子組換え))

▶インスリングラルギン BS 注ミリオペン「リリー」
(後劇)

Insulin Glargine BS 300 単位/3mL/キット
〔日本イーライリリー〕

〔薬価〕1,696 円/キット

〔貯法〕遮光、2～8℃

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】(注) 初期は 1 日 1 回 4～20 単位を皮下注するが、ときに他のインスリン製剤を併用することがある。注射時刻は朝食前又は就寝前のいずれでもよいが、毎日一定とする。その他のインスリン製剤を含めた維持量は、1 日 4～80 単位である。

(ガドブトロール)

▶ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 5mL

Gadovist 3,023.6mg/5mL/筒 〔バイエル〕

〔薬価〕5,114 円/筒

▶ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 7.5mL

Gadovist 4,535.4mg/7.5mL/筒

〔薬価〕7,457 円/筒

▶ガドビスト静注 1.0mol/L シリンジ 10mL

Gadovist 6,047.2mg/10mL/筒

〔薬価〕9,745 円/筒

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記造影：脳・脊髄造影、躯幹部・四肢造影

【用】(注)0.1mL/kg を静注する。

(ラムシルマブ(遺伝子組換え))

▶サイラムザ点滴静注液 100mg (劇)

Cyramza 100mg/10mL/V
〔日本イーライリリー〕

〔薬価〕75,265 円/瓶

▶サイラムザ点滴静注液 500mg (劇)

Cyramza 500mg/50mL/V

〔薬価〕355,450 円/瓶

〔貯法〕遮光、2～8℃

【効】治癒切除不能な進行・再発の胃癌

【用】(注) 2 週間に 1 回、1 回 8mg/kg をおよそ 60 分かけて点滴静注する。

(ペグフィルグラスチム(遺伝子組換え))

▶ジーラスト皮下注 3.6mg

G-Lasta 3.6mg/0.36mL/本 〔協和発酵キリン〕

〔薬価〕106,660 円/筒

〔貯法〕遮光、2～8℃

【効】がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制

【用】(注) がん化学療法剤投与終了後の翌日以降、3.6mg を化学療法 1 サイクルあたり 1 回皮下注する。

(ガドテル酸メグルミン)

▶マグネスコープ静注 38%シリンジ 15mL

Magnescape 15mL/筒 〔テルモ〕

〔薬価〕7,456 円/筒

【効】磁気共鳴コンピューター断層撮影における下記造影：脳・脊髄造影、躯幹部・四肢造影

【用】(注) 0.2mL/kg を静注する。腎臓を対象とする場合は、0.1mL/kg を静注するが、必要に応じて 0.2mL/kg まで増量することができる。

【院内採用追加医薬品】

(イオプロミド)

▶イオプロミド 370 注シリンジ 80mL「FRI」 ⑥

Iopromide FRI 80mL/筒 [富士フイルム RI]

〔薬価〕6,856 円/筒

▶イオプロミド 370 注シリンジ 100mL「FRI」 ⑥

Iopromide FRI 100mL/筒

〔薬価〕8,076 円/筒

〔貯法〕遮光

【効】①血管心臓撮影 ②胸部血管撮影 ③腹部血管撮影 ④四肢血管撮影 ⑤デジタル X 線撮影法による静脈性血管撮影 ⑥デジタル X 線撮影法による動脈性血管撮影 ⑦コンピューター断層撮影における造影 ⑧静脈性尿路撮影

【用】(注) 1 回下記量を使用する。複数回投与する場合の総投与量は 260mL までとする。①3～40mL ②5～50mL ③5～50mL ④10～40mL ⑤20～40mL ⑥3～30mL ⑦50～100mL ⑧50～100mL

【院内採用変更医薬品】

(セビメリン塩酸塩水和物)

▶サリグレンカプセル 30mg

Saligren 30mg/Cp

[日本化薬]

〔薬価〕128.5 円/Cp

【効】シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善

【用】(内) 1 回 30mg を 1 日 3 回、食後に投与する。